

市立病院 令和 5 年度決算報告

令和 5 年度大和市病院事業決算について、9 月議会にて決算認定を受けましたので報告します。

1. 令和 5 年度決算の概要

- ・ 病床稼働率が前年度より 5.4 ポイント増加し、入院収益が前年度より増加（約 5.2 億円）した一方で、令和 5 年 5 月より新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが「5 類感染症」となり、新型コロナウイルス感染症対応として交付されていた病床確保事業などの補助金が大幅に減少（約 10.5 億円）し、また、人事院勧告による給与改定等で給与費が増加しました。以上の結果、支出が収入を上回ることとなり、約 2.9 億円の赤字決算となりました。

2. 収 支 状 況

（単位：千円）

	令和 5 年度(A)	令和 4 年度(B)	差(A-B)
① 病院事業収益	12,453,918	12,984,522	△530,604
うち入 院 収益	6,787,228	6,268,825	518,403
うち外 来 収益	3,353,194	3,373,922	△20,728
うち一般会計負担金	1,357,640	1,362,500	△4,860
うち国県補助金	229,335	1,282,517	△1,053,182
② 病院事業費用	12,748,764	12,590,548	158,216
うち給 与 費	6,573,695	6,450,624	123,071
うち材 料 費	2,682,374	2,684,335	△1,961
うち経 費	2,066,880	2,015,883	50,997
③ 収支額(収益－費用)	△294,846	393,974	△688,820

3. 業 務 量

		令和 5 年度(A)	令和 4 年度(B)	差(A-B)
入 院	・ 病床稼働率	69.5%	64.1%	5.4 ポイント
	・ 1 日平均患者数	280.1 人	258.2 人	21.9 人
	・ 平均在院日数	10.2 日	10.0 日	0.2 日
	・ 診療単価	66,198 円	66,510 円	△312 円
外 来	・ 1 日平均患者数	759.8 人	786.9 人	△27.1 人
	・ 診療単価	18,161 円	17,644 円	517 円

① 病院事業収益の主な増減理由

入 院 収 益 : 対前年度比+518,403 千円

- 令和 5 年度の入院延患者数は 102,529 人で、令和 4 年度と比べて 8,275 人増加しました。
これは、(令和 5 年 4 月 7 日から) コロナ専用病棟をなくし、コロナの流行に左右されずに病床を稼働させたこと、(同年 5 月 8 日から) コロナウイルス感染症が 2 類感染症から 5 類感染症へ移行し、受診控えや病棟閉鎖が減少したことが主な要因と考えます。

外 来 収 益 : 対前年度比△20,728 千円

- 新型コロナウイルス感染症が令和 5 年 5 月 8 日から 5 類感染症に位置づけられたことにより、近隣医療機関での診療体制が整備され、発熱など新型コロナウイルス感染症を疑う患者の診療が可能となったことで、内科の患者数(救急含む)が減少したことが主な要因と考えます。

補 助 金 : 対前年度比△1,053,182 千円

- 前年度に引き続き、重点医療機関としてコロナ陽性患者等を受け入れてきましたが、5 類感染症への移行により補助対象病床及び金額が縮小したことから、大幅に減少しました。

② 病院事業費用の主な増減理由

給 与 費 : 対前年度比+123,071 千円

- 看護師数の増(R4 年度末 332 人→R5 年度末 341 人)に伴い、看護師給(給料)や時間外手当・勤勉手当が増加しました、また、退職引当金の増加に伴い、退職給付金が増加しました。
(給料/看護師給 +44,160 千円、手当/看護師給 +23,577 千円、退職給付金 +58,284 千円)

材料費のうち薬 品 費 : 対前年度比+35,340 千円

- 診療収入の増加に伴い増加しました。 ※ 薬品費対医業収益比率: R4 16.39%、R5 15.9%

材料費のうち診療材料費 : 対前年度比△49,768 千円

- 診療収入は増加しましたが、経営コンサル支援等による価格交渉の成果もあり減少しました。

経費のうち光 熱 水 費 : 対前年度比△43,727 千円

- 燃料調整単価が前年度と比較し減少したため、電気・ガスの使用料が減少しました。

経費のうち委 託 料 : 対前年度比+54,169 千円

- 更新) 検体検査委託(遺伝子検査等)(+19,131 千円) 検査単価及び検査数の増加
- 新規) 勤怠管理システム導入委託(+9,020 千円) 医師の働き方改革

4. **その他財務状況**

(単価: 千円)

	令和 5 年度(A)	令和 4 年度(B)	差(A-B)
・ 現金預金残高	1,638,185	1,178,103	+460,082
・ 企業債残高	2,528,991	2,580,901	△51,910
・ 他会計借入金残高	1,000,000	1,000,000	0

その他財務状況の主な増減理由

- 現金預金残高は、病床確保事業補助金等が減少したものの、診療収益の増加等により対前年度比約 4.6 億円の増となりました。
- 企業債残高は、元金償還額に対して新規の借入額が下回っていることから、対前年度比約 0.5 億円の減となりました。